

GO! https://www.jfaiu.gr.jp

航空連合2024春闘方針」を徹底議論

12月12日(火)、第1回加盟組合代表者会議を開催し、2024春闘 の基本方針や賃金要求を中心に議論を深めました。代表者からは 慢性的な人材不足など、職場の状況をふまえた意見があげられ、 2024春闘を「働き方と賃金を中心に昨期の転換点を確実なものに する」と位置づけ、「長く働きたいと思うことができる働き方の 実現と生産体制の構築を通じて、人材の確保・育成・定着をめざ ことを全体で確認しました。



活発に議論を交わす加盟組合代表者

同時に開催した第1回トップリーダーセミナー において、独立行政法人労働政策研究・研修 機構の藤村 博之 (ふじむら ひろゆき) 理事長より 「2024春闘に労働組合はどう臨むか」と題し、 日本の賃金の現状や、これまで賃金が上がらな かった原因、賃金交渉への取り組み姿勢などに ついてご講演をいただきました。

今後も2024春闘議論を深めていきます。



藤村理事長

航空連合ビジョン

いつの時代も社会から必要とされ、働く仲間がやりがいを感じ、誇りをもって働ける産業